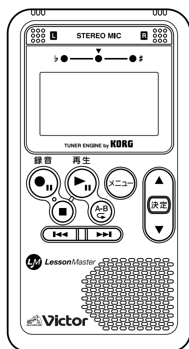


Victor

取扱説明書

ポータブルデジタルレコーダー

XA-LM1





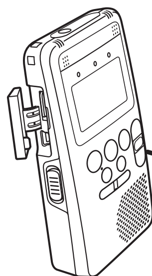
お買い上げいただきありがとうございます

⚠ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT2037-001A

特長



マイクロSDカードに長時間録音！
なんのカードかすぐにわかる「差したらしゃべる！音声タイトル」機能搭載



録音も再生もワンタッチのかんたん操作！

高感度広帯域ステレオマイクで高音質録音！

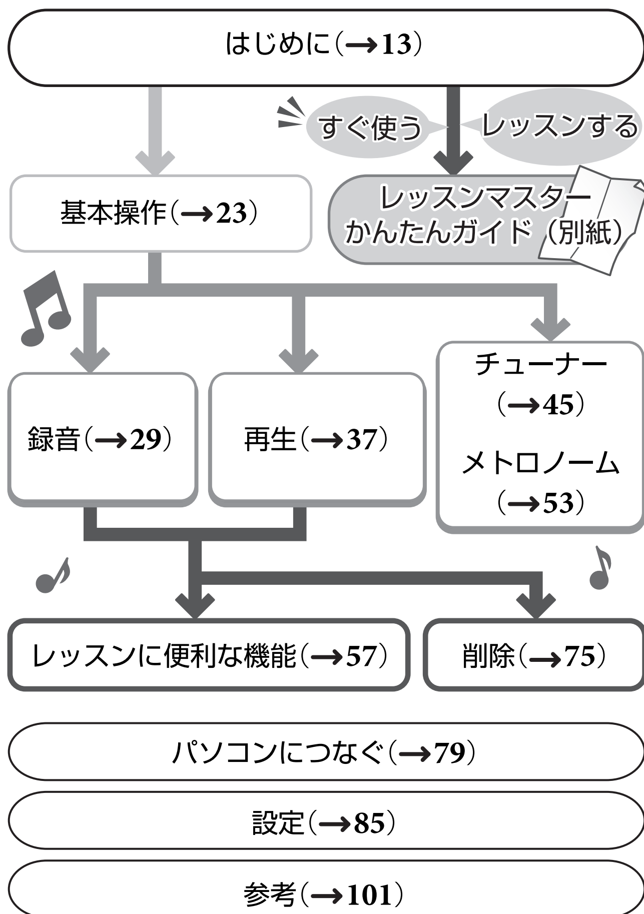
カレンダー検索で聴きたい演奏をスムーズに検索！

いい音で録ってスピーカーで聴ける！

楽器をつないでスピーカーで聴ける！

音楽レッスンに便利な機能を満載！
- クロマチックチューナー
- 光るメトロノーム
- スピードコントロール
- 簡単頭出し
- 良いとこ取り編集
- 聴き比べレッスン
- マイクロSDカードに簡単ダビング

本書のみかた



はじめに（→13）
すぐ使う
レッスンする
基本操作（→23）
レッスンマスター
かんたんガイド（別紙）
録音（→29）
再生（→37）
チューナー
（→45）
メトロノーム
（→53）
レッスンに便利な機能（→57）
削除（→75）

目次

安全に正しくお使いいただくために

◆安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

 **警告** 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



❗ 記号は行為の指示を告げるものです。

⚠ 警告

■ 自動車やバイク、自転車などを運転中は使用しない



・運転中に使用すると、交通事故の原因となります。
・また、歩きながら（特に踏切や横断歩道など）使用するときも周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

■ 分解・改造しない



・内部に金属物が入ると、故障や火災、感電の原因となります。
・点検や修理は販売店にご依頼ください。

■ 幼児、子供の手の届く場所に放置しない



・誤ってケーブル類やストラップを首に巻き付け、窒息を起こす原因となります。

■ 電池やmicroSD（マイクロ）カードを幼児、子供の手の届く場所に放置しない



・誤って飲み込む恐れがあります。

■ 電池の取り扱いに注意する



電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(+)とマイナス(−)を間違えない
- 電池のプラス(+)とマイナス(−)をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく
  もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。
  万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 電池を小さなお子様の手の届く所に置かない
  誤って飲み込む恐れがあります。

使い終わった電池は、自治体の指示に従って廃棄してください。



欧州連合のリサイクルマークです。

⚠注 意

■ 大音量で長時間つづけて聞きすぎない



- 耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げましょう。

■ 水をかけたりぬらしたりしない



- 機器を水がかかる場所（風呂場や台所など）で使用すると、内部に水が入り、火災や故障の原因となることがあります。

■ ヘッドホンを本体に巻きつけない



- コードが断線し、音が聞こえなくなるなどの不具合が発生することがあります。

ステレオを聞くときのエチケット
ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

使用上のご注意

■ 本体の置き場所について

次のような場所には置かないでください。変形や変色、故障の原因となることがあります。

- 窓を閉めきった自動車の中(とくに夏期)
- 風呂場など湿気の多いところ
- ホコリの多いところ
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
- 腐食性のガスなどが発生するところ

■ 航空機の中では電源を入れないでください

機内の電子機器に影響を与える恐れがあります。
機内では必ず電源を切っておいてください。

■ 落としたり強い衝撃を加えないでください

破損や故障の原因になることがあります。

■ 汗や水に濡れた手で操作しないでください

感電や電子回路のショート、腐食の原因となることがあります。身につけて使用する場合、汗などの水分が内部に入らないようにしてください。

■ USB接続時に雷が鳴り出したら、USBケーブルをはずしてください

感電の原因になることがあります。

■ microSD(マイクロ)カードの抜き差しについて

次のような場合は、microSDカードを抜かないでください。

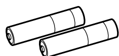
- 録音中
- 再生中
- コピー中
- microSDカード読み込み中
- 電源入/切の動作中
- USB接続中

ダビング中は、画面に従って抜き差ししてください。

付属品を確認する

お使いになる前に付属品をご確認ください。不足しているものがありましたら、お買い上げいただいた販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にご連絡ください。

- 単４アルカリ乾電池（２本、動作確認用）



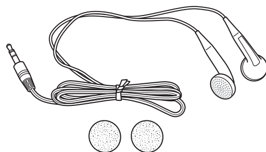
- microSDカード（お買い上げ時に、本機に挿入されています。）



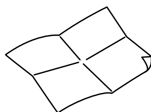
- USBケーブル



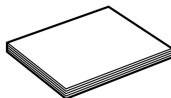
- ヘッドホン
- イヤーパッド



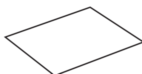
- レッスンマスターかんたんガイド



- 取扱説明書（本書）



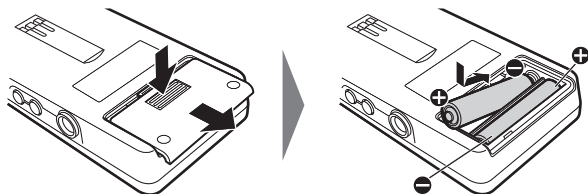
- 保証書



はじめに

電池を入れる

単4形アルカリ乾電池または単4形充電式ニッケル水素電池(2本)を使います。

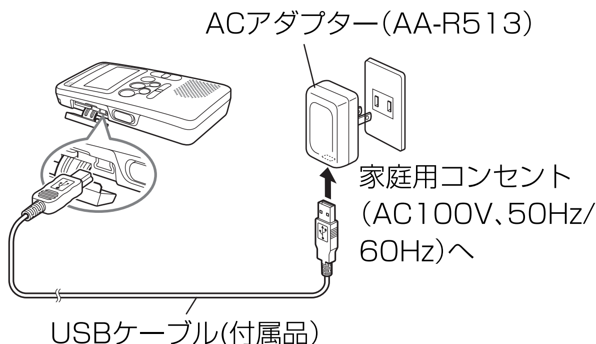


本体内部の極性表示(⊕/⊖)に合わせて正しく入れてください。

お知らせ

- 付属の乾電池は動作確認用です。
- マンガン乾電池は使用できません。
- 画面で電池残量を確認できます。(→ **28**)
  少なくなってきたら、2本とも新しい電池と交換してください。
- 録音するときは、予備の電池をご用意いただくことをおすすめします。
- 電池を抜いたまま、約2分以上放置すると、時計設定が消去される場合があります。
- 電池を入れるときや交換するときは、あらかじめ電源を切ってください。

• 別売りのACアダプター（AA-R513）を使って、家庭用の電源（AC100V、50Hz/60Hz）で使うこともできます。

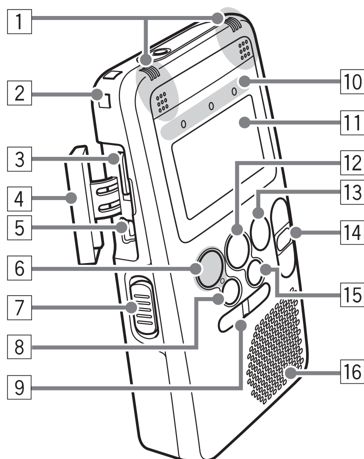


お知らせ

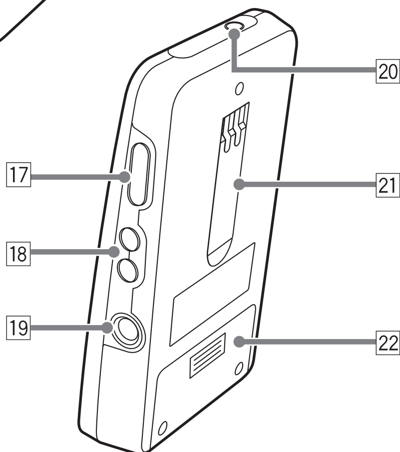
• ACアダプターを使うときも、電池は入れたままにしておくことをおすすめします。電池が入っていないときに停電が起きたり、コンセントを抜いて電源が切れたりすると、ファイルが破損する原因となることがあります。
• ACアダプターを使用しているときは、本機の電源を切ることはできません。電源を切るときは、USBケーブルを抜いてから電源を切ってください。
• ACアダプターを使用しても、本機で充電式ニッケル水素電池を充電することはできません。

各部のなまえとはたらき

正面、左側面



背面、右側面



1 ステレオ内蔵マイク L(左チャンネル)、R(右チャンネル)(→ **32**、**47**)

2 ストラップ取り付け穴

3 microSDカード挿入口(→ **20**)

4 microSD/USBカバー

5 USB端子(→ **15**、**80**)
パソコンまたは別売りのACアダプターにつなぎます。

6 **録音●❚❚** ボタン/録音ランプ(→ **32**、**33**)
- 一度押すと、録音待機状態(❚❚)になり、録音ランプが点滅します。もう一度押すと、録音(●)が始まり、録音ランプが点灯します。
- 録音中に押すと、録音が一時停止します。

7 **電源/ホールド**スイッチ(→ **22**、**24**)
- 「電源」側に押し上げると、電源が入/切します。
- 「ホールド」側に押し下げると、ボタンが働かなくなります(ホールド)。誤操作を防ぎたいときに使います。

8 ■ボタン
録音または再生が停止します。

次のページにつづく

9 ⏮/⏭ボタン
- 曲の頭出しをします。再生中に押しつづけると、早送り/早戻しになります。(→ **42**)
- カーソルを左右に移動して項目を選びます。

10 チューニング/メトロノームランプ(→ **48**、**55**)

11 表示窓

12 **再生**▶⏸ボタン
再生(▶)を始めます。再生中に押すと、再生が一時停止(⏸)します。

13 **メニュー**ボタン
メニューが表示されます。
- 押しつづけると、「設定」メニューが表示されます(録音中を除く)。

14 ▲/▼ ボタン、**決定**ボタン
- ▲/▼ ボタン:上下に並んだ項目を選びます。再生中に押すと、音量を調節します。
- **決定**ボタン:選択や調節を決定します。

15 **A-B**⮌ボタン
- A-B区間リピート再生を設定します。(→ **60**)
- 再生中に押しつづけると、「機能」メニューが表示されます。

16 スピーカー(モノラル)

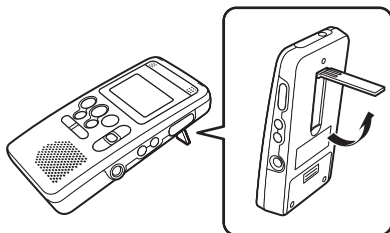
17 **音量+ーボタン**
音量を調節します(0〜30)。

18 **再生スピード+ーボタン(→ 61)**
再生速度を変えます(50%〜150%)。

19 **コンタクトマイク/楽器**端子(**→ 32、47**)
コンタクトマイク(別売り:AC-RL10J)または電気楽器をつなぎます(φ6.3mm、モノラル)。
- ステレオプラグは使用できません。

20 **ヘッドホン**端子(**→ 22**)
ヘッドホンをつなぎます(φ3.5mm、ステレオミニ)。

21 スタンド
スタンドを立てて、図のように置くことができます。



22 電池カバー(**→ 14**)

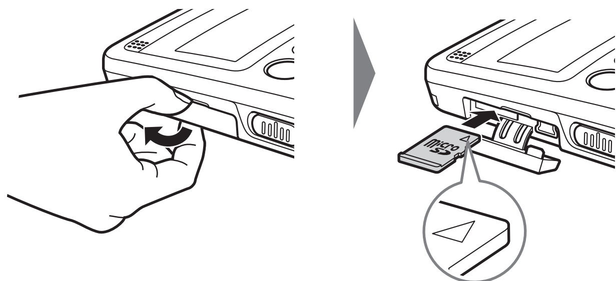
microSD(マイクロ)カードを入れる



本機では、録音した楽曲やパソコンから転送した音楽ファイルをmicroSDカードに保存します。



- 本機では、さらに大容量のmicroSDHCカードを使用することもできます。



- カチッと音がするまで押し込みます。

音声タイトル機能について

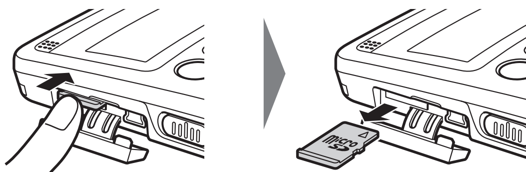
本機は、microSDカードの内容を区別できる「音声タイトル」機能を搭載しています。付属のmicroSDカードには音声タイトルは録音されておりませんので、初めて本機の電源を入れたときは音声タイトルを録音するかどうかメッセージが表示されます。録音のしかたなど、詳しくは**68**ページをご覧ください。

お知らせ

- 付属のmicroSDカードは、お買い上げ時に本機に挿入されています。
- 市販のmicroSDカードや、パソコンなどでフォーマットされたmicroSDカードを使用するときは、最初に本機でフォーマットする必要があります（→99）。このとき、カードに記録されていたデータはすべて消去されます。

取り出すときは

カチッと音がするまで押す

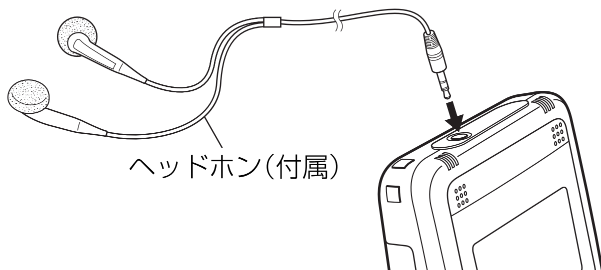


ご注意

- microSDカードは小さいので、なくさないようにご注意ください。
- カードを抜くときは、無理な力を加えずに、まっすぐ引き抜きます。

- microSDロゴは、商標です。
- microSDHCロゴは、商標です。

ヘッドホンをつなぐ



お知らせ

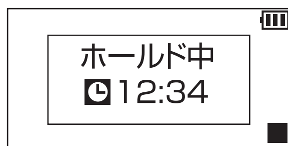
• ヘッドホンをつないでいるときは、スピーカーから音は出ません。

ボタンをホールドする

電源/**ホールド**スイッチを「ホールド」側に押し下げて、ボタンが働かないようにすることができます(ホールド)。



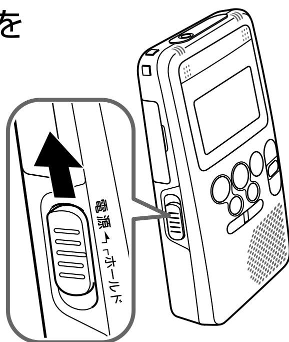
• ホールドしているときにボタンを押すと、ホールドをお知らせするメッセージと時刻が表示されます。(電源を切っているときは表示されません。)



基本操作

電源を入れる/切る

電源/ホールドスイッチを
「電源」側に押し上げる



電源を入れるとき

画面に音符が表示されたら、
スイッチをはなします。

- 初めて本機の電源を入れたときは、つづけて**25**ページの設定をしてください。



電源を切るとき

画面に「LessonMaster」と
表示されたら、スイッチをはなします。

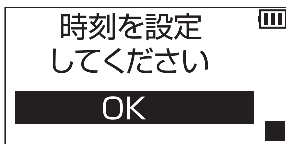


日付と時刻を設定する

次のときは、本機の電源を入れると「時刻を設定してください」と表示されます。

- 初めて本機の電源を入れたとき
- 電池を抜いたまましばらく放置したあとで、電源を入れたとき

操作の前に、日付と時刻を設定してください。



お知らせ

- 本機で録音したファイルは、録音開始時刻がファイル名としてつけられ、録音日ごとのフォルダに保存されます。日付と時刻は正しく設定してください。

「時刻を設定してください」と表示されているときに…

1 **決定**ボタンを押す

時計設定画面が表示されます。



次のページにつづく

2 設定する

- カーソルを移動させる:I◀◀/▶▶Iボタンを押す
- 年・月・日・時・分を合わせる:▲/▼ボタンを押す



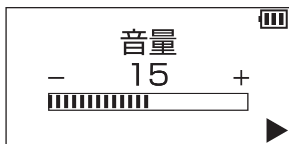
3 分にカーソルを合わせて**決定**ボタンを押す

日付と時刻が設定され、音声タイトルが再生されます。(音声タイトルが録音されていないときは、「音声タイトルを録音しますか?」と表示されます。)

- 日付と時刻は、「設定」メニューの「時計設定」でも設定できます。
- 音声タイトルについて、詳しくは**68**ページをご覧ください。

音量を調節する

音量+/−ボタンを押す

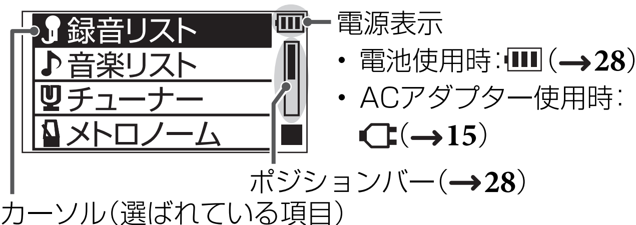


画面に音量が表示されます。

- 再生画面を表示しているときは、▲/▼ボタンを押しても音量を変えることができます。

メニュー画面について

本機の電源を入れると、メニュー画面が表示されます。



メニュー画面の項目

録音リスト	録音した楽曲ファイルのリストを表示します。(→**38**)
音楽リスト	音楽ファイルのリストを表示します。(→**38**)
チューナー	本機を楽器チューニングに使います。(→**46**、**50**)
メトロノーム	本機をメトロノームとして使います。(→**54**)
カレンダー	カレンダーを表示します。(→**40**)
ダビングリスト	ダビングしたファイルのリストを表示します。(→**74**)
機能	ファイルの削除や聴き比べレッスンなど、便利な機能を使います。(→**63**、**65**、**67**、**69**、**71**、**76**)
設定	本機の設定を変更します。(→**86**)

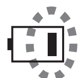
◆ 電池残量の見かた

電池残量は、再生画面と録音画面でも表示されます。

 十分残っています。

 約半分残っています。

 残りが少なくなっています。

 ほとんど残っていません。新しい電池に交換してください。

(点滅)

お知らせ

- 使用する電池の種類(アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池)を設定すると、より正確に残量を表示できます。(→ **97**)

◆ ポジションバーの見かた

 すべての項目が表示されています。

 表示されていない項目が上側にあります。

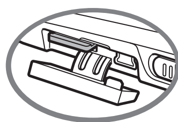
 表示されていない項目が下側にあります。

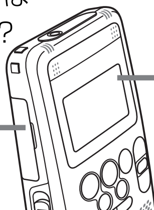
 表示されていない項目が上下にあります。

録音する

録音の前に確認してください。

microSDカードは
入っていますか？







電池は十分残って
いますか？

録音品質を設定する

録音の前に、録音品質の設定をします。

1 **メニュー**ボタンを押す

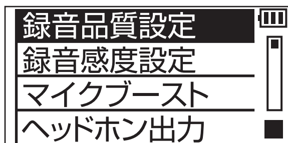
メニューが表示されます。



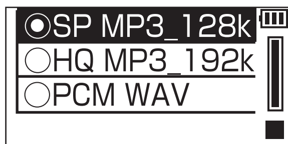
2 ▲/▼ ボタンを押して「設定」を選び、**決定**を押す



3 「録音品質設定」が選ばれているのを確認して**決定**ボタンを押す



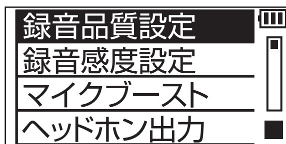
4 ▲/▼ボタンを押して録音品質を選ぶ



SP MP3_128k	MP3形式で、標準の音質で録音します。(お買い上げ時の設定)
HQ MP3_192k	MP3形式で、高音質で録音します。
PCM WAV	WAV形式で録音します。圧縮しないので、もっとも高音質です。

5 **決定**ボタンを押す

設定が終わり、メニューに戻ります。



お知らせ

- 録音品質設定による録音時間のめやすは、**118**ページをご覧ください。

録音する

ご注意

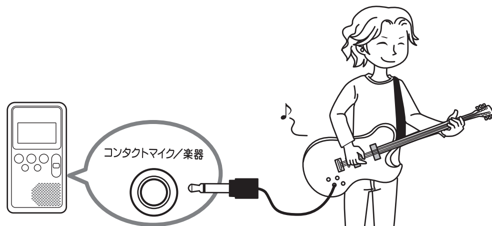
- 録音中はmicroSDカードを抜かないでください。
- **コンタクトマイク/楽器**端子にプラグをつなぐと、内蔵マイクは働きません。

1 本機を設置する

・本機の内蔵マイクを使うとき



・電気楽器をつないで録音するとき

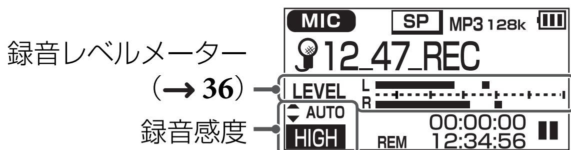


2 **録音●II**ボタンを押す

録音待機状態になり、録音ランプが点滅します。

3 ▲/▼ボタンを押して録音感度を選ぶ

- 内蔵マイクを使っているときは、ヘッドホンで音声を聞くことができます。
- 電気楽器をつないでいるときは、スピーカーまたはヘッドホンで音声を聞くことができます。楽器の音量も調節してください。



Auto[HIGH]	遠くの小さな音から大きな音まで録音できます（お買い上げ時の設定）。
Auto[LOW]	音源の音量が十分大きいときは、Auto[HIGH]に比べて、より自然な音で録音できます。
MANU（マニュアル）	⏮/⏭ボタンを押して感度を16段階で調節して録音します。

- **89**ページもご覧ください。

4 もう一度**録音●II**ボタンを押す

録音が始まり、録音ランプが点灯します。

- 録音中に押すと、録音が一時停止します。
- 画面については、**35**ページをご覧ください。

次のページにつづく

5 演奏が終わったら、■ボタンを押す

録音が終了します。

録音した内容を聞くには

再生►IIボタンを押します。録音したばかりの楽曲が再生されます(ワンタッチ再生)。

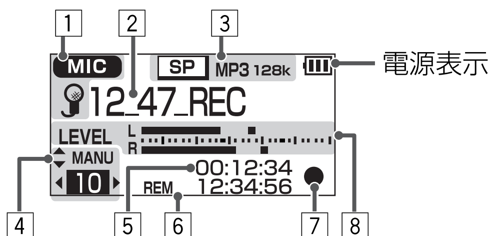
お知らせ

- 録音中は録音感度(Auto[HIGH]/Auto[LOW]/MANU)は切り換えられません。(「MANU」を選んでいるときのレベル調節はできます。)
- 録音感度は、「設定」メニューの「録音感度設定」で設定することもできます。(→ **89**)
- 録音は20時間で自動的に停止します。
- 2GBを超えるファイルは、自動で分割されます。
- A-B区間リピート再生中(→ **60**)に**録音●II**ボタンを押すと、聴き比べレッスン(→ **62**)が始まります。
- **電源/ホールド**スイッチを「ホールド」側にすると、本機を手で持ちながら録音するときの誤操作を防げます。

電源 ホールド

- **コンタクトマイク/楽器**端子を使った録音では、L(左)、R(右)に同じ音声が録音されます。
- **コンタクトマイク/楽器**端子はモノラル専用です。ステレオプラグは使用できません。

録音画面



1 入力ソース表示

- MIC :内蔵マイクでの録音
- INPUT :楽器をつないでの録音

2 録音しているファイル名

- 録音を始めた時刻がファイル名になります。たとえば、12時47分に録音を始めた場合、ファイル名は「12_47_REC」になります。
- 同じ日時で録音したときのファイル名の例:
  12_47_REC、12_47_REC[1]、12_47_REC[2]
- 2GBを超えて自動で分割されたときのファイル名の例:
  12_47_REC、12_47_REC_1、12_47_REC_2

3 録音品質設定

4 録音感度設定

5 録音経過時間

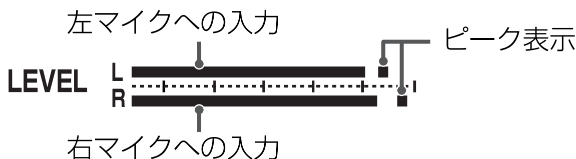
6 microSDカードに録音できる残り時間

7 ●(録音中)、❚❚(録音待機)、■(停止)

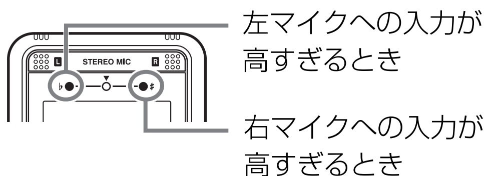
8 録音レベルメーター

◆録音レベルメーターの見かた

レベルメーターが振り切れない範囲で感度を高く設定することで、ひずみとノイズの少ない録音ができます。



・入力レベルが高すぎると、表示窓の上のランプが赤く点灯します。(メトロノーム使用時はメトロノームランプとして働くため、入力レベルが高くても点灯しません。)



・「MANU」を選んで最大(16)にしても感度が低いときは、マイクブーストを切り換えてください。詳しくは**90**ページをご覧ください。

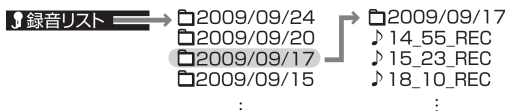
1 ■ボタンを押してから**メニュー**ボタンを押す
2 「設定」の「マイクブースト」を「ブーストオン」にする

再生する

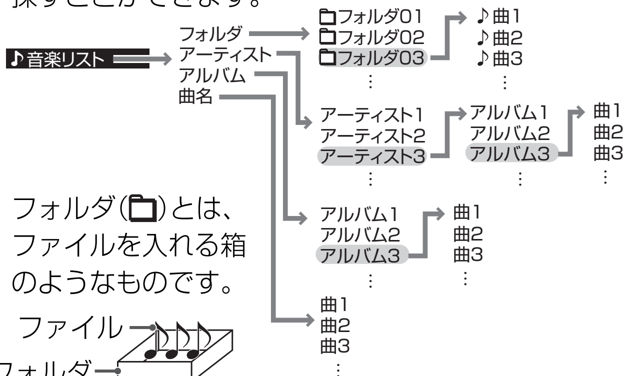
リスト検索

録音した楽曲ファイルやパソコンから取り込んだ音楽ファイルを、フォルダまたはリストから探すことができます。

- **録音した楽曲ファイルを探すとき：**
  メニューの「録音リスト」から探します。録音リストでは、録音日のフォルダが日付の新しい順に、その中の楽曲ファイルは録音した順に表示されます。



- **パソコンから取り込んだ音楽ファイルを探すとき：**
  メニューの「音楽リスト」から探します。タグ情報があるファイルは、タグ情報をもとにしたリストから探すことができます。



- フォルダ（　）とは、ファイルを入れる箱のようなものです。

お知らせ

- タグ情報とは、音楽ファイルに書き込まれた演奏者(アーティスト)、アルバム名、曲名などの情報です。タグ情報がないときは「フォルダ」からファイル名で探します。

◆ファイルの選びかた

1 **メニュー**ボタンを押す

メニューが表示されます。

2 ▲/▼ ボタンを押して「録音リスト」または「音楽リスト」を選び、**決定**ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンを押してフォルダまたはリストを選び、**決定**ボタンを押す

- 再生したいファイルが表示されるまで、同じ操作をくり返します。

4 ▲/▼ ボタンを押してファイルを選び、**決定**ボタンを押す

選んだファイルから、フォルダ/リストの表示順に再生されます。

お知らせ

- 選んだフォルダ/リストの最後のファイルの再生が終わると、そのフォルダ/リストの最初の曲に戻り、再生は停止します。
- 選んだフォルダ/リストにファイルがないときは、「ファイルがありません」と表示されます。
- 再生中の操作と画面については、**42**、**43**ページをご覧ください。

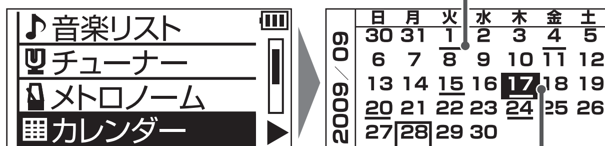
カレンダー検索

本機で録音した楽曲ファイルを、カレンダーの日付から探します。

1 **メニュー**ボタンを押す

メニューが表示されます。

2 ▲/▼ ボタンを押して「カレンダー」を選び、**決定**ボタンを押す

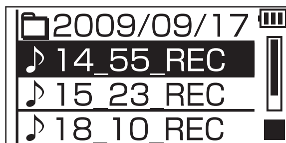


3 録音日を選ぶ

- 月を選ぶ：⏮/⏭ボタンを押す
- 録音日を選ぶ：▲/▼ボタンを押してカーソルを移動させる（録音した楽曲がある日付のみ、選ぶことができます。）

4 **決定**ボタンを押す

録音した順に楽曲ファイルが表示されます。



5 ▲/▼ボタンを押して楽曲ファイルを選び、**決定**ボタンを押す

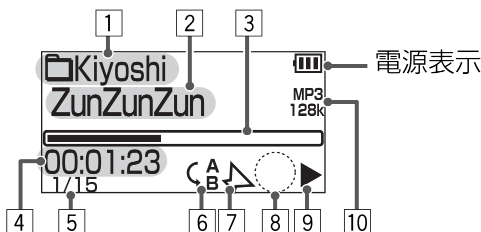
再生が始まります。

- 選んだ録音日フォルダの最後のファイルの再生が終わると、そのフォルダの最初の曲に戻り、再生は停止します。
- 再生中の操作と画面については、**42**、**43**ページをご覧ください。

再生中の操作

操作	押すボタン
再生	**再生►II**ボタン • 録音した直後に押すと、録音したばかりの楽曲を再生します（ワンタッチ再生）。 • もう一度押すと、一時停止します。
音量調節	**音量+−**ボタン
一時停止	**再生►II**ボタン • もう一度押すと、再生します。
次の曲の頭出し	►►Iボタン
再生中の曲の頭出し	I◄◄ボタン
前の曲の頭出し	I◄◄ボタンをつづけて2回押す
早送り	►►Iボタンを押しつづける
早戻し	I◄◄ボタンを押しつづける
再生を止める	■ボタン
再生経過時間と再生残り時間の表示を切り換える	**決定**ボタン

再生画面



1 フォルダ/リストの種類(：フォルダ/：アルバム/：アーティスト)

- 音楽ファイルを「曲名」から選んだときは、アーティスト名が表示されます。

2 曲名(ファイル名)

3 再生経過表示

4 再生経過時間(または再生残り時間)

5 再生中の曲の番号/フォルダ(またはリスト)総曲数

6 リピート再生表示(1：1曲/：全曲/AB：A-B区間)

7 音声出力/設定表示

- ：スピーカー表示(「はっきりスピーカ」設定時は表示になります)
- ：ヘッドホン表示(「はっきりヘッドホン」設定時は表示になります)

8 イコライザー設定(EQ1/2/3)

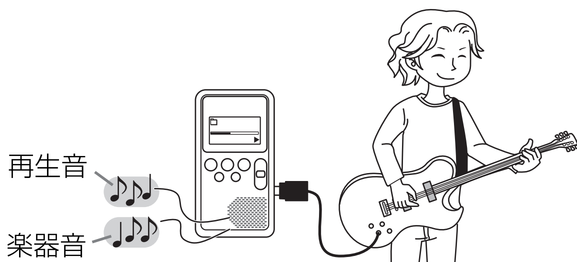
9 ▶(再生中)、❚❚(一時停止)、■(停止)、▶▶(早送り)、◀◀(早戻し)

10 ファイルの種類とビットレート

楽器をつなぐ

コンタクトマイク/楽器端子に電気楽器をつないで、楽器の音を本機のスピーカー(またはヘッドホン)で聞くことができます。

・ 再生音と楽器音の両方を一緒に聞くこともできます(ミキシング再生)。



・ ミキシング再生をするときは、再生音に合わせて楽器の音量を調節してください。

チューニングする

楽器をチューニングする

本機では、2通りのチューニングができます。

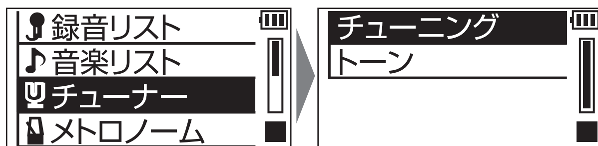
- **クロマチックチューナー**
  マイクを通して本機に入力された楽器の音と基準音とのずれを、画面とランプでお知らせします。
- **チューニングトーン**
  本機から出る各音の基準音を聞きながら、チューニングします。

◆クロマチックチューナー

1 **メニュー**ボタンを押す

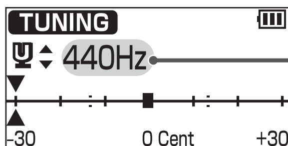
メニューが表示されます。

2 ▲/▼ボタンを押して「チューナー」を選び、**決定**ボタンを押す



3 「チューニング」が選ばれているのを確認して**決定**ボタンを押す

4 ▲/▼ボタンを押して基準となる音の高さを選ぶ



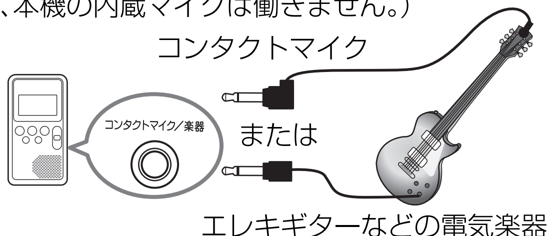
基準となる音の高さ（A音の周波数）

- 選べる範囲：430Hz～449Hz

5 楽器を単音で鳴らす

画面に合わせたい音が表示されるよう、おおまかにチューニングします。

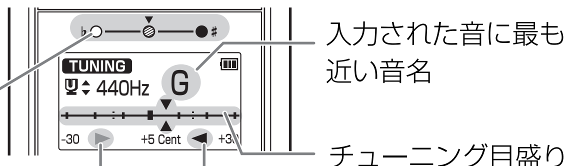
- 内蔵マイクを使っているときは、雑音の少ない場所で、できるだけ楽器をマイク（L側）に近づけてください。
- コンタクトマイクまたは電気楽器を本機につないでチューニングすることもできます。（このとき、本機の内蔵マイクは働きません。）



次のページにつづく

6 チューニング目盛りとランプを見ながらチューニングする

例:楽器の音(G音)が、目標(基準音)より少し高いとき

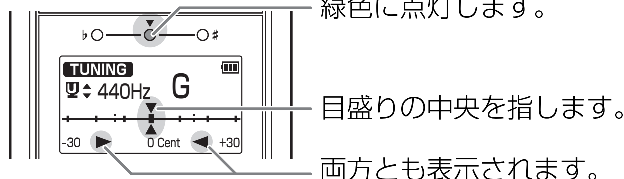


基準音よりも低いときは►、高いときは◄が表示されます。音が合うと、両方表示されます。

音のずれ	♭	▼	♯
低い	●	○	○
やや低い	●	◍	○
なし(ぴったり)	○	◍	○
やや高い	○	◍	●
高い	○	○	●

●:点灯(赤)
◍:点灯(緑)
○:消灯

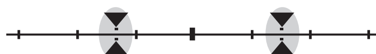
G音が基準音にぴったり合ったときのランプと表示例



- 他の音も同様にチューニングしてください。
- チューニングが終わったら、**メニュー**ボタンを押してメニューに戻ります。

お知らせ

- 本機のチューニングの基準は、ピアノなどの調律に使う平均律です。純正律でチューニングするときは、長3度および短3度の音を図のように合わせてください。



長3度（－13.7Cent）　　短3度（＋15.6Cent）

- 倍音を多く含む音色や減衰が速い楽器音などは、測定できない場合があります。
- 電気楽器を本機につないでチューニングするときは、楽器の音量を調節してください。
- 電気楽器をつなぐときは、エフェクタなどを通さずに、直接つないでください。
- **コンタクトマイク/楽器**端子はモノラル専用です。ステレオプラグは使用できません。

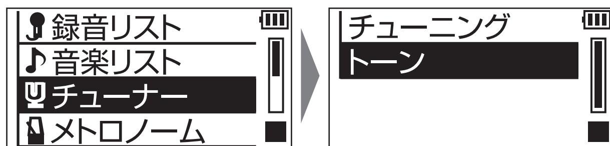
◆ チューニングトーン

1 **メニュー**ボタンを押す

メニューが表示されます。

2 ▲/▼ボタンを押して「チューナー」を選び、**決定**ボタンを押す

3 ▼ボタンを押して「トーン」を選び、**決定**ボタンを押す



本機から基準音が聞こえます。

4 ▲/▼ボタンを押して、A音の周波数を選ぶ



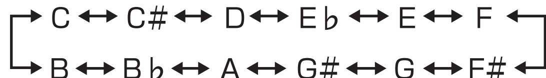
5 ▶▶|ボタンを押して、カーソルを音名に移動する



6 ▲/▼ボタンを押して、音名を選ぶ

手順*4*で選んだA音の周波数を基準にして、選んだ音が本機から聞こえます。

- 次の音名が選べます。



7 楽器をチューニングする

- ほかの音を合わせるときは、手順*6*と*7*をくり返します。
- **音量+−**ボタンで、基準音の音量を調節できます。
- 基準音を止めるには、**決定**ボタンまたは■ボタンを押します。再開するには、**決定**ボタンまたは**再生▶II**ボタンを押します。

メモ

メトロノームを使う

メトロノームを使う

本機をメトロノームとして使うことができます。

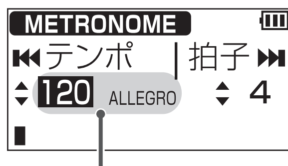
1 **メニュー**ボタンを押す

メニューが表示されます。

2 ▲/▼ボタンを押して「メトロノーム」を選び、**決定**ボタンを押す



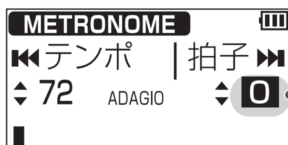
3 ▲/▼ボタンを押してテンポを調節する



選べる範囲：♩=30（LARGHISSIMO（ラルギッシモ））〜250（PRESTISSIMO（プレスティッシモ））

4 ▶▶Iボタンを押してカーソルを拍子に移動する

5 ▲/▼ボタンを押して拍子を調節する

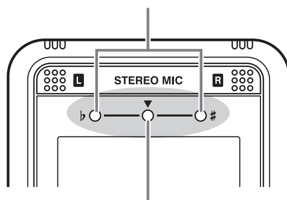


選べる範囲:
0拍子〜7拍子

6 **決定**ボタンを押す

本機からリズム音が聞こえ、リズムに合わせてランプが光ります。

赤いランプが一拍ずつ交互に光ります



緑色のランプが拍子の一拍めで光ります
（0拍子のときは光りません。）

- **音量+−**ボタンで、リズム音の音量を調節できます。
- メトロノームを止めるには、**決定**ボタンまたは■ボタンを押します。再開するには、**決定**ボタンまたは**再生►II**ボタンを押します。

次のページにつづく

お知らせ

- メトロノーム使用中に**録音●II**ボタンを押すと、メトロノームを使いながら録音できます。録音中は、リズム音は鳴らずに、光るランプでリズムをお知らせします。
- 裏拍をとりたいときや変拍子などでリズム音を鳴らしたくないときは、0拍子を選んでください。

便利な機能

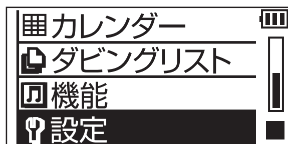
くり返し聞く（1曲リピート、全曲リピート）

同じ曲やすべての曲をくり返し再生できます。

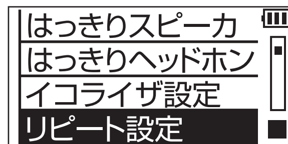
1 **メニュー**ボタンを押す

メニューが表示されます。

2 ▲/▼ ボタンを押して「設定」を選び、**決定**ボタンを押す



3 ▲/▼ ボタンを押して「リピート設定」を選び、**決定**ボタンを押す



4 ▲/▼ボタンでくり返しの種類を選び、**決定**ボタンを押す



1曲リピート	1曲をくり返します。再生画面に (1) が表示されます。
全曲リピート	再生しているフォルダ/リストのすべての曲をくり返します。再生画面に が表示されます。
オフ	くり返しをやめます(お買い上げ時の設定)。

メニュー画面に戻ります。

- 再生画面に戻るには、**再生►II**ボタンを押します。

一部分をくり返し聞く(A-B区間リピート)

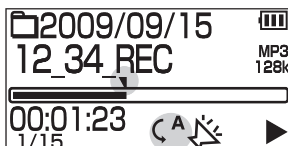
曲の再生中に、曲の一部分(「さび部分だけ」など)をくり返して再生できます。



「ここだけくり返し聞きたいな」

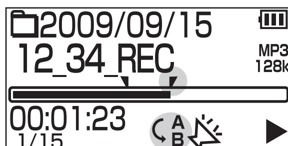
1 曲を再生する

2 くり返しの始点(A点)で**A-B**ボタンを押す



3 くり返しの終点(B点)で**A-B**ボタンを押す

- A点とB点の間隔は、2秒以上あけてください。
- B点を指定しないと、A点から曲の終わりまでがくり返し再生されます。(A点から曲の終わりまで2秒以下のときは、A-B区間リピートできません。)



指定した部分がくり返し再生されます。

・A-B区間リピートをやめるには、もう一度**A-B**ボタンを押します。

お知らせ

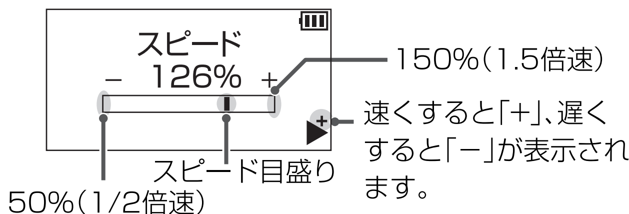
- 曲をまたいでのA-B区間リピートはできません。
- ⏮/⏭ボタンで曲を変えると、A-B区間リピートは解除されます。

再生速度を変える(スピードコントロール)

キー(音の高さ)を変えずに、曲を速く再生したり、遅く再生したりできます。

再生中に**再生スピード+/−ボタン**を押す

・速くする:**再生スピード+**ボタン(〜150%)
・遅くする:**再生スピード−**ボタン(〜50%)



・もとに戻すときは、「100%」にしてください。

お知らせ

- 次の曲に変わると、通常の再生速度に戻ります。

くり返し練習する（聴き比べレッスン）

お手本再生につづけて練習を録音し、お手本と練習を聴き比べられます。くり返し練習できるので、集中して練習したいフレーズがあるときに便利です。



1 お手本にしたいフレーズを決める

・ **60**ページの手順に従って、お手本にしたいフレーズでA-B区間リピート再生をします。

2 録音●II ボタンを押す

「ピピッ」と音が鳴り、お手本にしたフレーズの再生が始まります。録音ランプが点滅します。



・ 再生が終わると「ピッ」と音が鳴り、録音ランプが点灯に変わります。録音が始まります。

3 演奏を始める



・ 練習は、お手本の再生時間よりも約10%長く録音できます。たとえば、お手本が1分の場合、1分6秒たつと練習録音は自動で終わります。(早めに録音を終えるときは、■ボタンを押します。)

録音が終わると、「ピピッ」と音が鳴り、お手本と練習が交互に再生されます。

もう一度録音するときは

手順***2***と***3***をくり返して、何度でも練習できます。

お手本と練習の再生を切り換えるには

▶▶Iボタンを押します。

・ お手本または練習の再生中は、一時停止、停止、早送り/早戻しなどの操作もできます。

聴き比べレッスンをやめるには

メニューボタンまたは**A-B**ボタンを押します。

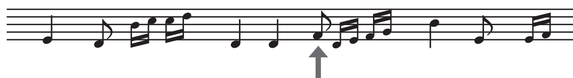
・ **再生▶II**ボタンを押すと、再生画面に戻ります。
・ 練習の録音は、聴き比べレッスンを終了すると自動的に消去されます。

お知らせ

- 練習できるフレーズは、最長5分です。
- 練習録音の録音感度は「録音感度設定」で変更できます。
- メニューの「機能」から「聴き比べレッスン」を選んで、聴き比べレッスンを始めることもできます。このとき、フレーズ(A-B区間)を指定していないと、1曲の練習になります。

頭出しマークをつける（簡単頭出し）

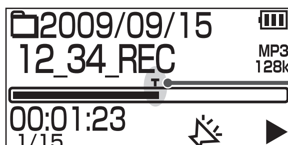
好きなところで簡単に頭出しができるように、曲にマークをつけられます。



「ここで頭出しをしたいな」

1 曲を再生する

2 頭出しマークをつけたいところで**決定**ボタンを押しつづける



頭出しマーク（T）が表示されたら、ボタンをはなします。

- 複数の頭出しマークをつけるには、手順***2***をくり返します。

お知らせ

- 頭出しマークは、1曲に20か所までつけることができます。
- 次の頭出しマークとの間は、2秒以上の間隔をあけてください。

頭出しするには

⏮/⏭ボタンを押します。

頭出しマークを解除する

・頭出しマークは、曲ごとに一括で解除されます。一つずつ解除することはできません。

頭出しマークを解除する曲を再生または停止しているときに…

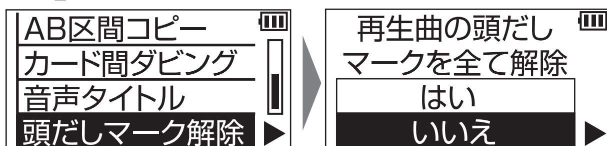
1 **メニュー**ボタンを押す

メニューが表示されます。

・曲が終わるまでに、手順*2*から*4*を行なってください。

2 ▲/▼ボタンを押して「機能」を選び、**決定**を押す

3 ▲/▼ボタンを押して「頭だしマーク解除」を選び、**決定**ボタンを押す
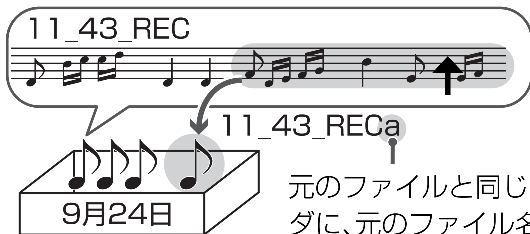


4 ▲ボタンを押して「はい」を選び、**決定**を押す

頭出しマークが解除され、再生画面に戻ります。

・「いいえ」を選ぶと、手順*2*の画面に戻ります。再生画面に戻るには、**再生▶II**ボタンを押してください。

良いとこ取り編集をする

本機で録音した楽曲ファイルまたはMP3/WAV形式の音楽ファイルの一部分をコピーして、別のファイルとして保存できます（AB区間コピー）。



元のファイルと同じフォルダに、元のファイル名の末尾にアルファベットをつけた名前で保存されます。

お知らせ

- WMA形式の音楽ファイルのAB区間コピーはできません。
- 一つのファイルから、最大26回のAB区間コピーができます。
- コピーしたファイルは、元のファイルと同じフォルダに、コピーした順に保存されます。

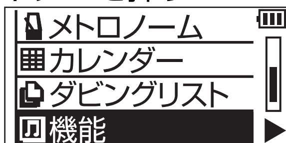
1 コピーしたい部分を決める

- **60**ページの手順に従って、コピーしたい部分でA-B区間リピート再生をします。

2 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

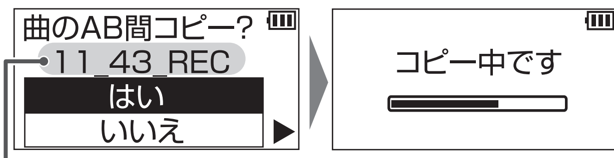
3 ▲/▼ボタンを押して「機能」を選び、**決定**ボタンを押す



4 ▲/▼ボタンを押して「AB区間コピー」を選び、**決定**ボタンを押す



5 ▲ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押す



コピーするファイル名

コピーが終わると、手順**4**の画面に戻ります。

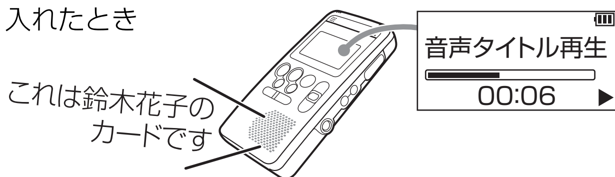
- 再生画面に戻るには、**再生▶II**ボタンを押してください。

音声タイトル機能を使う

microSDカードを交換したときに、あらかじめ録音した音声タイトルを自動で再生することができます。一人で複数のmicroSDカードを使い分けているときや、お友だちとmicroSDカードを交換したときに、どのカードかわかって便利です。

音声タイトルがmicroSDカードに録音されていると、次のときに音声タイトルを再生します。

- 本機の電源が入っていて、microSDカードを挿入したとき
- 別のmicroSDカードに交換して、本機の電源を入れたとき
- 電池を抜いたまましばらく放置したあとで、電源を入れたとき



◆音声タイトルを録音する

音声タイトルが録音されていないmicroSDカードを挿入すると、「音声タイトルを録音しますか？」と表示されます。

1 ▲ボタンを押して「はい」を選び、マイクに向かって音声を10秒以内で録音する

- 2秒以上録音してください。

2 話し終わったら、■ボタンを押す

- ■ボタンを押さなくても、10秒たつと自動的に止まります。

◆音声タイトルを変更する

音声タイトルの変更や削除は、「機能」メニューから操作します。

1 **メニュー**ボタンを押す

メニューが表示されます。

2 ▲/▼ボタンを押して「機能」を選び、**決定**ボタンを押す

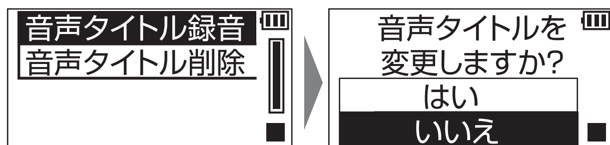


3 ▲/▼ボタンを押して「音声タイトル」を選び、**決定**ボタンを押す



次のページにつづく

4 「音声タイトル録音」が選ばれているのを確認して、**決定**ボタンを押す



5 ▲ボタンを押して「はい」を選んで**決定**ボタンを押す

録音ランプが点灯し、録音が始まります。マイクに向かって「これは鈴木花子のカードです」などと話してください。

6 話し終わったら、■ボタンを押す

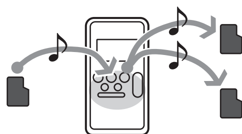
- ■ボタンを押さなくても、10秒たつと自動的に録音が止まります。

お知らせ

- microSDカード１枚につき、１件録音できます。
- 音声タイトルを削除するには、手順*4*で「音声タイトル削除」を選びます。

ダビングする

microSDカードに入っているファイルを、パソコンを使わずにほかのmicroSDカードにダビング(コピー)することができます。



お知らせ

- ダビング先のmicroSDカードは、あらかじめ本機でフォーマットしてください。(→ **99**)
- 1曲ずつダビングできます。一度に複数のファイルをダビングするときは、パソコンにファイルをコピーして、パソコンから別のmicroSDカードにコピーしてください。(→ **82**)

1 ダビングしたいファイルを再生し、停止する

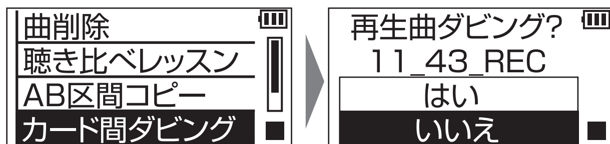
2 **メニュー**ボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ▲/▼ ボタンを押して「機能」を選び、**決定**ボタンを押す

次のページにつづく

4 ▲/▼ボタンを押して「カード間ダビング」を選び、**決定**ボタンを押す



5 ▲ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押す

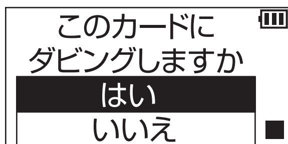
「ダビング準備中　カードを抜かないで下さい」と表示され、ダビングの準備(microSDカードから内蔵メモリーへのダビング)が始まります。
ダビングの準備が終わると、「準備が完了しました。カードを交換してください」と表示されます。

6 microSDカードを入れ替える

「このカードにダビングしますか」と表示されます。

- microSDカードに音声タイトルが録音されているときは、音声タイトルが再生されます。そのまま手順*7*へ進んでください。

7 ▲ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押す



「ダビング中　カードを抜かないで下さい」と表示され、内蔵メモリーからmicroSDカードへ、ダビングが始まります。
ダビングが終わると、「他のカードへダビングしますか」と表示されます。

- **ほかのmicroSDカードにもダビングするとき**
  「はい」を選んで**決定**ボタンを押し、手順***6***と***7***をくり返します。
- **ダビングを終了するとき**
  「いいえ」を選んで**決定**ボタンを押します。
  ダビングが終了し、「機能」メニューに戻ります。
  再生画面に戻るには、再生►❚❚ボタンを押してください。

次のページにつづく

ご注意

- ダビング準備中とダビング中は、microSDカードを抜かないでください。
- ダビング先のmicroSDカードに十分な空き容量がないと、ダビングができない場合があります。
- 内蔵メモリーの容量を超えるサイズのファイルは、ダビングできません。パソコンを使ってコピーしてください。

ダビングを中断するときは

メニューボタンを押します。

「ダビングを終了 メニューへ移動？」と表示されます。

中断するときは、▲ ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押してください。

ダビングしたファイルを再生するときは

メニューの「ダビングリスト」からファイルを選びます。

- 本機で録音されたファイルは、次のように表示されます。

  例：2009年9月15日12時時34分の録音ファイル

ダビング元のファイル名	ダビングリストのファイル名
12_34_REC	090915_1234

削除する

ご注意

- 削除した曲は、もとに戻せません。よく確認してから削除してください。

曲を削除する

楽曲ファイルや音楽ファイルを1曲ずつ削除します。

- まとめて削除するときは、パソコンを使います。（→ **82**）

1 削除したいファイルを再生し、停止する

2 **メニュー**ボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ▲/▼ ボタンを押して「機能」を選び、**決定**ボタンを押す

4 「曲削除」が選ばれているのを確認して**決定**ボタンを押す



削除すると、もとに戻せません。よく確認してから手順5に進んでください。

5 ▲ ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押す



「お待ちください」と表示されてファイルが削除されると、手順*4*の画面に戻ります。

- 再生画面に戻るには、**再生▶ II**ボタンを押してください。

お知らせ

- 手順*1*のあとで**A-B**ボタンを押しつづけると、手順*4*へ進めます。
- 録音リスト、音楽リスト、またはダビングリストで削除したいファイルを選んでいるときに**A-B**ボタンを押しつづけると、手順*5*の画面が表示され、選んでいるファイルを削除できます。

フォルダ/ファイルを削除する

フォルダを一つずつ削除します。フォルダを削除すると、その中のファイルはすべて削除されます。

1 **メニュー**ボタンを押す

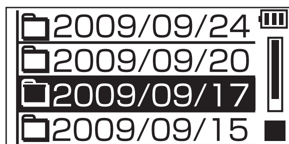
メニューが表示されます。

2 ▲/▼ボタンを押して「録音リスト」、「音楽リスト」を選び、**決定**ボタンを押す

- 「音楽リスト」を選んだときは、「フォルダ」を選んでから手順*3*に進みます。

次のページにつづく

3 ▲/▼ボタンを押して、削除したいフォルダを選ぶ

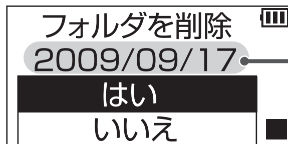


4 A-Bボタンを押しつづける

確認のメッセージが表示されます。

削除すると、もとに戻せません。よく確認してから手順5に進んでください。

5 ▲ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押す



削除されるフォルダ名

「お待ちください」と表示されてフォルダが削除されると、フォルダのリスト表示に戻ります。

お知らせ

- 音楽リストのアーティストとアルバムを削除することはできません。

パソコンにつなぐ

パソコンにつなぐ

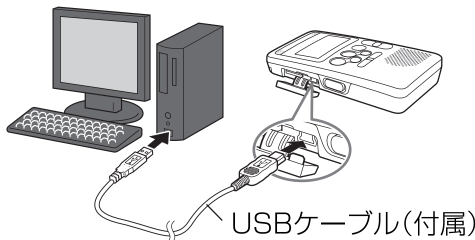
本機とパソコン(Windows®7、Windows Vista®またはWindows®XP)をつないで、パソコン側から次の操作ができます。

- 楽曲ファイルを、パソコンにコピーする
- 楽曲ファイルや音楽ファイルを、まとめて削除する
- CDなどからパソコンに取り込んだ音楽ファイル(MP3/WMA/WAV形式)を、本機に転送する

お知らせ

- 本書では、Windows Vista®の画面例で説明しています。
- 本機をUSBケーブルでパソコンにつないでいる間は、本機からの操作はできません。

1 本機をパソコンに接続する



本機がリムーバブルディスクとしてパソコンに認識されます。

- 本機の画面に「USB接続中」と表示されます。

• パソコンの表示は、設定によって異なります。

2 パソコンの (マイコンピュータ)から、本機のフォルダを開く

Windows Vista®での画面例



Record (レコード)	本機で録音した楽曲ファイルが入っているフォルダです。日付のフォルダを開くと、楽曲ファイルが表示されます。
Music (ミュージック)	音楽ファイルが入っているフォルダです。
Dubbing (ダビング)	ダビングしたファイルが入っているフォルダです。

• パソコンでは、本機の「録音リスト」のフォルダ名とファイル名は次のように表示されます。
例:2009年9月15日12時34分に録音された楽曲ファイル

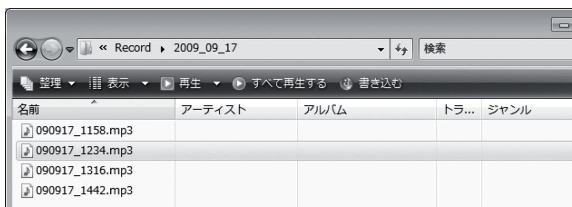
	本機の表示	パソコンでの表示
フォルダ名	2009/09/15	2009_09_15
ファイル名	12_34_REC	090915_1234.mp3

◆本機からパソコンへコピーする

1 本機のフォルダを開く

2 コピーしたいフォルダ/ファイルを、パソコンのデスクトップなどへコピーする

Windows Vista®での画面例



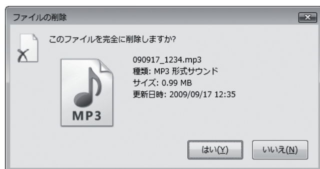
◆ファイル/フォルダを削除する

1 本機のフォルダを開く

2 削除したいファイル/フォルダを選ぶ

3 キーボードのDeleteを押して、確認ダイアログで「はい」を選ぶ

Windows Vista®での画面例



・パソコンの表示は、設定によって異なります。

◆音楽ファイルを転送する

1 パソコン上に音楽ファイルを用意する

2 音楽ファイルを本機の「Music」フォルダへコピーする

Windows Vista®での画面例



お知らせ

- 音楽ファイルの収録時間のめやすについては、**118**ページをご覧ください。
- WMA-DRM（著作権保護付き）ファイルは、本機では再生できません。

◆パソコンから取りはずす

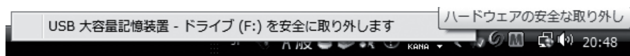
本機をパソコンから取りはずすときは、以下の手順に従って正しく取りはずしてください。

1 タスクバーの（「ハードウェアの安全な取り外し」）をクリックする

次のページにつづく

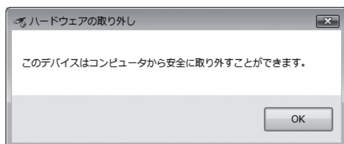
2 ポップアップメッセージをクリックする

Windows Vista®での画面例(表示は、設定によって異なります。)



3 確認ダイアログが表示されたら、USBケーブルをはずす

Windows Vista®での画面例(表示は、設定によって異なります。)



4 USBケーブルをはずす

ご注意

- 本機の表示窓の矢印の回転が止まるまで、USBケーブルを抜かないでください。ファイルが破損する原因となることがあります。



設定を変える

設定を変える

使いかたに合わせて、設定を変えることができます。

お知らせ

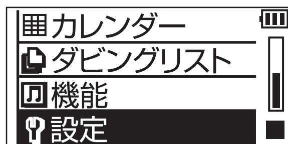
- 本機の表示は、日本語表示と英語表示を選べます。本書では、日本語表示で説明しています。表示の切り換えかたは**95**ページをご覧ください。

◆操作のしかた

1 **メニュー**ボタンを押す

メニューが表示されます。

2 ▲/▼ ボタンを押して「設定」を選び、**決定**ボタンを押す

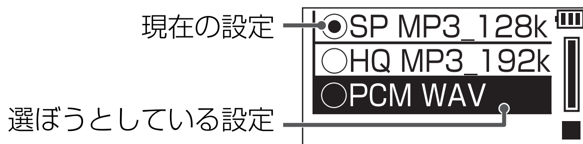


3 ▲/▼ ボタンを押して設定したい項目を選び、**決定**ボタンを押す

- 項目によっては、もう一度▲/▼ ボタンで項目を選び、**決定**ボタンを押します。

4 ▲/▼ボタンを押して設定を選び、**決定**ボタンを押す

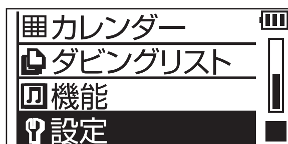
例：録音品質設定の場合



設定が変更され、メニューに戻ります。

- 前の画面に戻るときは、⏮ボタンを押します。

設定項目一覧

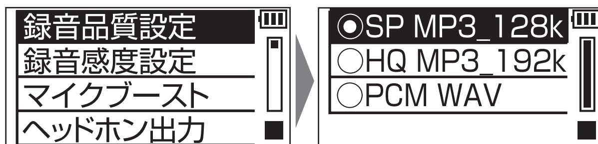


録音品質設定	電源オフタイマー
録音感度設定	電池設定
マイクブースト	LCDコントラスト
ヘッドホン出力	LCDバックライト
はっきりスピーカ	メニュー言語
はっきりヘッドホン	フォーマット
イコライザ設定	設定初期化
リピート設定	ファームウェア
時計表示	使用容量情報
時計設定	

◆録音の設定

録音品質設定

楽曲録音の品質を選びます。



- **SP MP3_128k**:MP3形式で、標準の音質で録音します。(お買い上げ時の設定)
- **HQ MP3_192k**:MP3形式で、高音質で録音します。
- **PCM WAV**:WAV形式で録音します。圧縮しないため、MP3形式よりも、高音質で録音しますが、ファイルサイズは大きくなります。

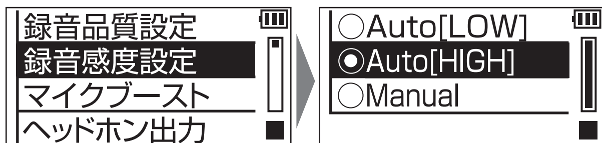
お知らせ

- 録音品質によって、楽曲ファイルの大きさが変わるため、録音できる時間が変わってきます。設定ごとの録音できる時間のめやすについては、**118**ページをご覧ください。
- MP3形式は圧縮形式のため、ファイルサイズは小さくなりますが、音質はWAV形式よりも劣ります。

・操作のしかたは、**86**ページをご覧ください。

録音感度設定

録音感度を設定します。



- Auto[HIGH]/Auto[LOW]：音源の音量に応じて感度を自動設定するので、幅広い音量に対してノイズやひずみの少ない、聞き取りやすい録音ができます。録音レベルが予想しにくいときに便利です。

  [HIGH]（お買い上げ時の設定）を選ぶと、遠くの小さな音から、大きな音まで録音できます。

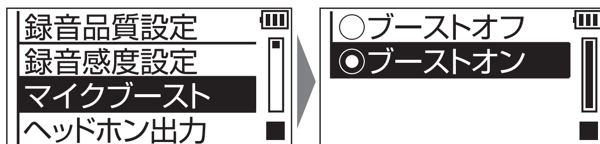
  音源の音量が十分大きいときは、[LOW]を選ぶとより自然な音で録音できます。
- MANU（マニュアル）：I◀◀ /▶▶Iボタンを押して、感度を16段階で調節して録音します。元音に忠実な録音をしたいときにおすすめします。

お知らせ

- 録音感度設定は、聴き比べレッスンの練習録音にも有効です。

マイクブースト

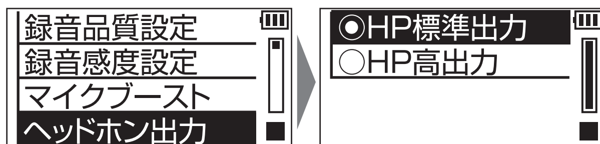
録音感度設定が「Manual」のときに「ブーストオン」(お買い上げ時の設定)を選ぶと、マイクゲインを上げて、小さな音も録音できるようにします。



◆聞くときの設定

ヘッドホン出力

ヘッドホンの音が、音量を調節しても小さいと感じる場合は、「HP(ヘッドホン)高出力」を選びます。

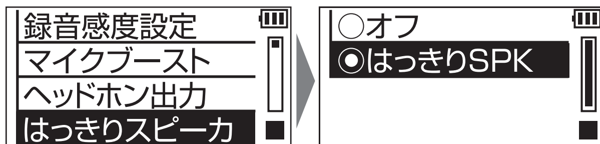


- お買い上げ時は「HP標準出力」に設定されています。

• 操作のしかたは、**86**ページをご覧ください。

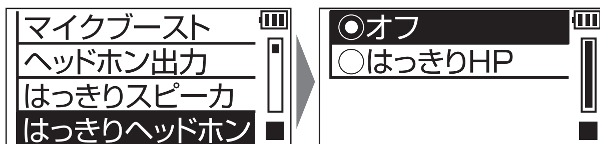
はっきりスピーカ

音量を調節してもスピーカーからの音が小さいときに「はっきりSPK」（お買い上げ時の設定）を選ぶと、小さな音も大きく再生され、聞きやすくなります。



はっきりヘッドホン

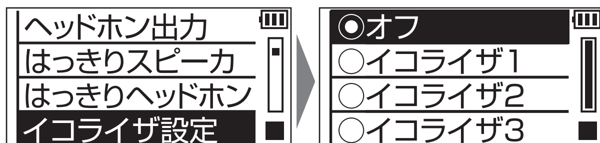
ヘッドホンの音が小さいときに「はっきりHP」を選ぶと、小さな音も大きく再生され、聞きやすくなります。



• お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

イコライザ設定

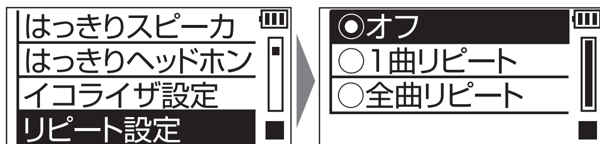
ヘッドホンで聞くときの音質を、3種類までお好みで設定できます。



- 「イコライザ1/2/3」を選ぶと、音質調節画面が表示されます。曲を聞きながら、お好みで調節します。調節のしかたは、**98**ページをご覧ください。
- お買い上げ時は「オフ」に設定されています。
- スピーカーで聞くときは、この設定は働きません。

リピート設定

再生のくり返しを設定します。



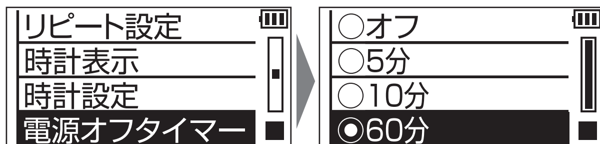
- **オフ**:くり返しません。(お買い上げ時の設定)
- **1曲リピート**:1曲をくり返します。
- **全曲リピート**:選んでいるフォルダ/リストのすべての曲をくり返します。

・ 操作のしかたは、86ページをご覧ください。

◆省電力設定

電源オフタイマー

操作しなくなってから電源が切れるまでの時間を設定して、電池の消耗を防ぐことができます。



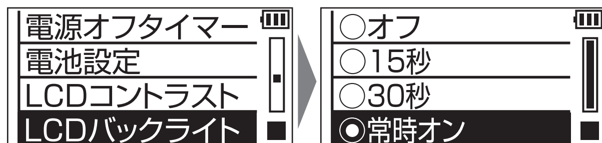
・ お買い上げ時は「60分」に設定されています。
・「オフ」を選ぶと、電源は自動では切れません。

お知らせ

• 次のときは、電源オフタイマーを設定していても電源は切れません。
  – USBで給電しているとき
  – 録音中
  – 再生中

LCDバックライト

操作しなくなってから画面の照明が消えるまでの時間を設定して、電池の消耗を防ぐことができます。

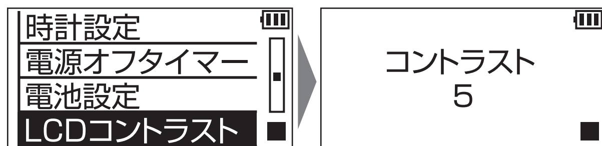


- 「オフ」を選ぶと、バックライトは点灯しません。
- 「常時オン」(お買い上げ時の設定)を選ぶと、電源が入っているときバックライトは常に点灯します。

◆画面の設定

LCDコントラスト

画面の濃淡を変更できます。

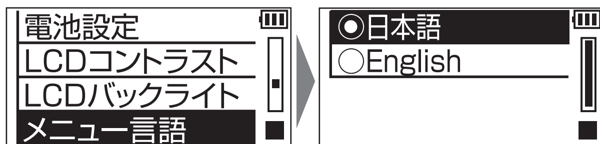


- 画面を見ながら、見やすい値(1～10)に設定します。
- お買い上げ時は「5」に設定されています。

・操作のしかたは、86ページをご覧ください。

メニュー言語

本機の表示言語を切り換えます。日本語(お買い上げ時の設定)と英語が選べます。



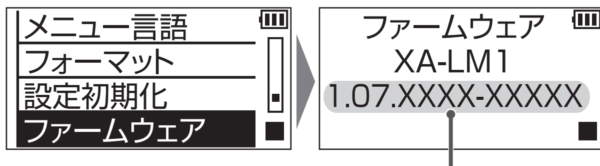
◆ 情報を見る

時計表示

日付と時刻を表示します。

ファームウェア

本機のファームウェアのバージョンを表示します。



ファームウェアのバージョン

使用容量情報

microSDカードの使用情報を表示します。

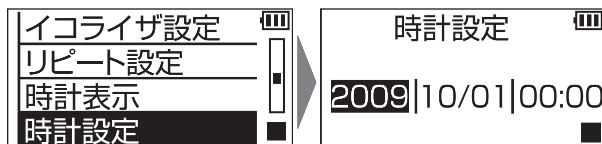


- 「残り」で表示される時間は、現在の録音品質設定で録音できる時間です。
- microSDカードの一部をシステム管理情報の保存に使用しているため、表示される容量はmicroSDカードに記載されている容量よりも少なくなります。

◆ その他

時計設定

日付と時刻を設定します。(→ **25**)



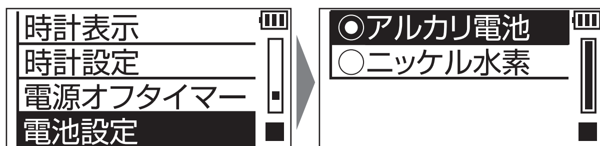
・ 操作のしかたは、**86**ページをご覧ください。

お知らせ

- 本機の時計は、最大で月に2分程度のずれが生じることがあります。定期的に日付と時刻を合わせ直してください。
- 電池を抜いたまま、約2分以上放置すると、時計設定が消去される場合があります。

電池設定

お使いの電池の種類を設定することで、電池残量をより正確に表示できます。



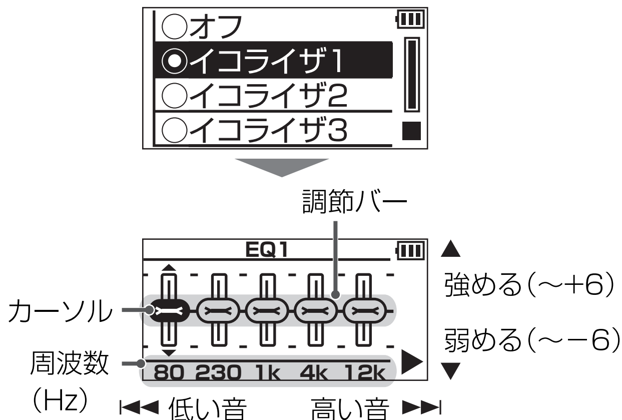
・ お買い上げ時は「アルカリ電池」に設定されています。

イコライザーを調節する

ヘッドホンで聞くときの音質を、お好みで調節します。

- **ヘッドホンをつないでいるときに、調節できます。**

（例）「イコライザ1」を選んだとき



1 |◀◀/▶▶| ボタンを押して周波数（音の高さ）を選ぶ

2 ▲/▼ ボタンを押して調節する

- 「設定」メニューに戻るには、「12k」の調節バーにカーソルを合わせて、**決定**ボタンを押します。
- メニューに戻るには、**メニュー**ボタンを押します。
- 再生画面に戻るには、**再生▶II**ボタンを押します。

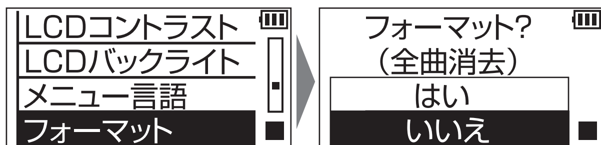
microSDカードをフォーマットする

microSDカードをフォーマット(初期化)します。

- 付属のmicroSDカード以外のmicroSDカードを使うときは、はじめに本機でフォーマットをしてお使いください。

ご注意

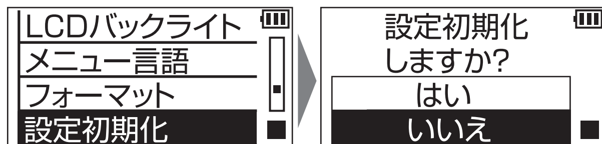
- フォーマットをすると、microSDカードのファイルはすべて消去されます。消去したファイルは、もとに戻せません。よく確認してからフォーマットしてください。



- **はい**:フォーマットします。「フォーマット完了しました」と表示されたら、**決定**ボタンを押します。
- **いいえ**:消去せずに、前の画面に戻ります。

設定を初期化する

時計設定以外の本機の設定を、お買い上げ時の設定に戻します。



- **はい**：お買い上げ時の設定に戻します。「設定初期化完了しました」と表示されたら、**決定**ボタンを押します。
- **いいえ**：設定を戻さずに、前の画面に戻ります。

お知らせ

- 次の設定もお買い上げ時の設定に戻ります。
  音量、メトロノーム、チューニングトーン
- 録音した楽曲ファイルや、音楽ファイルは削除されません。

参考

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、サービス窓口にご相談になる前に、もう一度ご確認ください。

- ビクターホームページ（http://www.victor.co.jp/）から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。

電源を入れ直しても誤動作する場合は、電池を抜いて、もう一度入れ直してください。

◆全般

電源が入らない

- 電源が入る前に、**電源/ホールド**スイッチから指をはなした ⇨ 画面が点灯し、表示が出るまで、スイッチを押し上げたままにしてください。
- 電池が消耗している ⇨ 残量表示が点滅（）したら、早めに電池を交換してください。

操作できない

- ボタン操作がホールドされている（**電源/ホールド**スイッチが「ホールド」側になっている）⇨ ホールドを解除してください。
- 電池が消耗している ⇨ 残量表示が点滅（）したら、早めに電池を交換してください。
- パソコンにつないでいる ⇨ パソコンから取りはずしてください。（→ **83**）

電源が切れない

- ACアダプターを使用している ⇨ ACアダプターを抜いてから電源を切ってください。

スピーカーから音が出ない

・ヘッドホンがつながれている ⇨ ヘッドホンをはずしてください。
・音量が小さすぎる ⇨ 音量を調節してください。（**→ 26**）

自動的に電源が切れる

・電源オフタイマーが設定されている ⇨ 設定を「オフ」にしてください。（**→ 93**）
・電池が消耗している ⇨ 残量表示が点滅（▯）したら、早めに電池を交換してください。

突然電源が切れる、動作が不安定

・電池が著しく劣化している ⇨ 新しい電池に交換してください。

メニューを表示できない

・録音画面が表示されている ⇨ 録音待機中または録音中は、メニューを表示できません。■ボタンを押して録音待機を解除するか、録音を止めてから、**メニュー**ボタンを押してください。

◆録音

録音できない

・microSDカードが正しく挿入されていない ⇨ microSDカードを正しく挿入してください。

次のページにつづく

- microSDカードに空き容量がない ⇨ 不要な曲を削除するか（→ **76**、**82**）、microSDカードを入れ替えてください。
- A-B区間リピート再生をしている ⇨ A-B区間リピート再生中に録音●❚❚ボタンを押すと、聴き比べレッスンが始まります。**A-B**ボタンを押してA-B区間リピートを解除してから録音してください。
- 2秒以内に■ボタンを押した ⇨ 2秒以下の録音は保存されません。長めに録音してください。

録音ファイルが正常に保存されない

- 電池が著しく劣化している ⇨ 新しい電池に交換してください。

録音した音がひずむ

- 録音したとき、本機が音源に近すぎた ⇨ 音源から本機をはなして録音するか、録音感度を下げてください。（→ **33**、**89**）
- 音源の音量に対して、録音感度が高すぎる ⇨ 録音レベルメーターを見ながら、録音感度を調節してください。（→ **33**）

録音した音が小さい

- 録音したとき、本機が音源から遠すぎた ⇨ 音源に近づいて録音するか、録音感度を上げてください。

- 録音感度が「AUTO」のときに、操作音などの雑音が入った ⇨ 雑音に対して自動感度調節が働き、録音した音が一時的に小さくなることがあります。録音中は、できるだけ静かに操作することをおすすめします。

◆再生

再生►II ボタンを押しても再生が始まらない

- 録音画面が表示されている ⇨ 録音待機中または録音中は、再生できません。■ボタンを押して録音待機を解除するか、録音を止めてから再生してください。
- microSDカードが挿入されていない ⇨ microSDカードを挿入してください。

◆チューニング

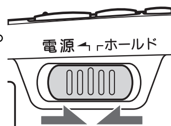
うまくチューニングできない

- つないだ電気楽器の音量が大きすぎる、または小さすぎる ⇨ チューニング目盛りが安定するように、楽器の音量を調節してください。
- 内蔵マイクと楽器の距離が遠い ⇨ できるだけマイク（L側）に近づけてください。または、マイクの向きを変えてみてください。
- 周囲の雑音が多い ⇨ できるだけ他の音が入らないようにしてください。

こんなメッセージが出たら

ホールド中

ボタン操作がホールドされています。操作するには、**電源/ホールド**スイッチを図の位置に戻してください。



カード読み込み中

microSDカードを挿入すると表示されます。この表示が出ているときは、操作ができません。また、この表示が出ているときは、microSDカードを抜かないでください。

カードを挿してください

次のときにmicroSDカードが入っていないと表示されます。microSDカードを挿入してください。microSDカードが入っているときに表示されたら、もう一度挿入し直してください。

- **録音●II**ボタンまたは**再生►II**ボタンを押したとき
- 「録音リスト」、「音楽リスト」、「ダビングリスト」または「機能」メニューを選んだとき

お待ちください

ファイルの削除などの実行中に表示されます。microSDカードを抜いたときに表示されることもあります。

カード読み込み失敗しました
カードを挿し直してください

microSDカードを読み込めなかったときに表示されます。

空き容量がありません

microSDカードに空き容量がないときに**録音●❚❚**ボタンを押すと表示されます。空き容量のあるmicroSDカードに入れ替えてください。

電池切れ

電池がなくなると表示され、電源が切れます。電池を交換してください。(→ **14**)

スピーカ再生時イコライザ設定はできません

イコライザーは、ヘッドホンで聞くときの設定です。ヘッドホンをつないでいるときのみ調節できます。

録音は中断されました。

録音中にmicroSDカードを抜くと表示されます。録音中は、microSDカードを抜かないでください。誤って抜いてしまった場合は、録音をやり直してください。

再生できません。

非対応形式のファイルを再生しようとした、またはファイルが破損しているときに表示されます。再生できないファイルは、リストでは♪アイコンが表示されます。

お手本が長すぎます。5分以内にしてください。

「聴き比べレッスン」では、5分までのフレーズを設定してください。

頭だしマークの設定は20箇所までです

すでに20か所の頭出しマークをつけた曲に、21か所めの頭出しマークをつけようとすると表示されます。その曲には、それ以上の頭出しマークはつけられません。

頭だしマークを設定していません

頭出しマークがついていない曲を選んでいるときに「頭出しマーク解除」をしようとすると表示されます。頭出しマークのついている曲を選んでください。

コピーするABリピート区間を選択して下さい

良いとこ取り編集の操作は、A-B区間リピートを設定してから行なってください。(→ **60**)

WMAファイルはAB区間コピーに対応していません

良いとこ取り編集には、MP3またはWAV形式のファイルを選んでください。

カードの容量が少ない為ダビングできません。

良いとこ取り編集またはカード間ダビングで、microSDカードの空き容量が足りません。不要なファイルを削除するか(→ **76**、**82**)、microSDカードを入れ替えてください(→ **20**)。

曲のサイズが大きいためダビングできません。

カード間ダビングでは、内蔵メモリーの容量を超えるサイズの曲はダビングできません。パソコンを使ってコピーしてください。（→ **82**）

搭載ソフトウェアに関する情報

McObjectエンドユーザー使用許諾書

本機XA-LM1には、McObject社のデータベースソフト（以下本ソフトといいます）が搭載されています。本ソフトの使用条件等は以下のとおりです。

1. 著作権

   本ソフトに関する著作権等の知的財産権は、McObject LLC（"McObject"）またはそのライセンサーに帰属するものです。日本ビクター（以下弊社）はMcObject とのライセンス契約に基づき本ソフトを配布する正当な権限を有しています。

   本ソフトは、日本、アメリカ合衆国およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

2. 権利の許諾

   お客様は、本契約の条項に従って、本機上でのみ本ソフトを使用する非独占的な権利を本契約に基づき取得します。

3. 制限事項

お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。ただし、適法で認められる場合はこの限りではありません。

お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合または適法で認められる場合を除いて、本ソフトを全部または一部であるかを問わず、使用、複製することはできません。

お客様には本ソフトを使用許諾する権利はなく、またお客様は本ソフトを第三者に販売、貸与またはリースすることはできません。

4. 非保証

本ソフトは、一切の保証なく、現状で提供されるものであり、本ソフトの満足度、性能、正確性または成果(無過失を含みます)等、本ソフトに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。また本ソフトによりお客様がお楽しみになっていることを妨げられたり、または侵害された場合も、一切の保証はありません。

5. 責任の制限

McObject、弊社および本ソフトの作成・提供に係ったいかなる者も、本契約その他いかなる場合においても、本ソフトに関連する間接、特別または付随的損害(逸失利益を含みます)(損害発生につきMcObject、弊社らが予見し、または予見し得た場合を含みます)について、一切責任を負いません。お客様は、本ソフトの使用に関連して第三者からお客様になされた請求に関連する損害、損失あるいは責任より弊社、McObjectおよびそれらの役員、従業員ならびに代理人を免責し、保証するものとします。

6. 契約期間

本契約は、お客様によって本機上の本ソフトが使用開始された日を以て発効し、次によって終了されない限り有効に存続するものとします。

お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、弊社は、お客様に対し何らの通知、催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。その場合、弊社は、お客様の違反によって被った損害をお客様に請求することができます。なお、万一、本契約が終了したときには、お客様は本ソフトの使用を中止しなければならず、さらには本機に組み込まれた本ソフトをお持ちになることはできません。

7. 輸出管理
お客様は、本ソフトに適用される輸出管理についてのあらゆる法令規則を遵守することに同意するものとします。

8. その他
(1) 弊社の正当な代表者が署名した書面による場合を除き、本契約のいかなる修正、変更、追加、削除その他改変も無効とします。
(2) 本契約のいずれかの規定が日本国の法律で無効とされた場合も、残りの規定は依然有効とします。
(3) 本契約は日本国法を準拠法とします。本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所としてこれを解決するものとします。

主な仕様

・本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

記録メディア

・microSDカード(64MB～2GB)
・microSDHCカード(4GB～16GB)

録音

入力ソース

・内蔵ステレオマイク
　エレクトレットコンデンサー型
・コンタクトマイク/楽器端子
　φ6.3 mm、モノラル標準ジャック

録音フォーマット

・MP3		128 kbps、44.1 kHz(「SP」設定時)
		192 kbps、44.1 kHz(「HQ」設定時)
・WAV		16ビット、48 kHz(リニアPCM)
録音感度		AUTO[LOW]
		AUTO[HIGH]
		Manual(1～16)
		マイクブーストオン/オフ
電池持続時間		約12時間(内蔵マイク、バックライトオフ、アルカリ乾電池使用時)*1

再生

対応ファイル形式

- MP3/WMA　8 kbps～320 kbps VBR、8 kHz～48 kHz
  (スピードコントロール、はっきりスピーカ、はっきりヘッドホンは32kHz～48kHzのみに有効)
- WAV　16ビット、リニアPCM
- 最大収録曲数　4000曲
- 最大ファイル/フォルダ数　8000
- 最大フォルダ階層数　6
- 周波数特性　30 Hz～22 kHz

電池持続時間　約22時間
(ヘッドホン、MP3再生時、バックライトオフ、アルカリ乾電池使用時)*1

入出力

- コンタクトマイク/楽器端子
  - φ6.3 mm、モノラル標準ジャック×1
  - 入力インピーダンス　470 kΩ
  - 最大入力レベル　0 dBV
- ヘッドホン端子
  - φ3.5 mm、ステレオミニジャック×1、
    推奨インピーダンス　16 Ω以上

- USB端子
  - ミニBタイプ、2.0/1.1（ハイスピード対応）
  - マスストレージクラス対応
  - USB入力：　DC 5 V⎓ 500 mA
- スピーカー径　φ28 mm

実用最大出力

- ヘッドホン　8 mW ＋ 8 mW（32 Ω JEITA*[2]）
- スピーカー　300 mW（8 Ω JEITA*[2]）（モノラル）

チューナー部

- 基準音の調整範囲：430 Hz～449 Hz（A4）
- 測定範囲：C1（32.70 Hz）～C8（4186.01 Hz）
- 精度　±1セント以内
- 基準発信音（トーン）：C4（261.63 Hz）～B4（493.88 Hz）

メトロノーム部

- テンポ　♩＝30～250回/分
- 拍子　0～7拍子

*[1]は、使用状況や電池の状態などにより変動します。保証値ではありません。
*[2]は、JEITA（電子情報技術産業協会）の測定法に基づく数値です。

主な仕様(つづき)

表示部

大型バックライト付き液晶

共通部

電源

- 単4形アルカリ乾電池(LR03):1.5 V×2
  または
- 単4形充電式ニッケル水素電池(Ni-MH):
  1.2 V×2
- USB給電:DC 5 V⎓ 500 mA

本体寸法

幅約64 mm × 高さ120 mm ×
奥行22.5 mm(突起部含まず)

質量　　約94 g(電池含まず)

対応OS

Microsoft® Windows® 7、Windows Vista®、
Windows® XP

別売りのオプション品

- コンタクトマイク:AC-RL10J
- ACアダプター:AA-R513

データのお取り扱いについて

- 本機の故障または不測の事態などにより、再生･録音において利用の機会を逸したために発生した損害などの補償については、ご容赦ください。大切なデータはパソコンなどにバックアップを取っておくことをお勧めします。



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- Microsoft、Windows、およびWindows Mediaは米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporation の商標または登録商標です。
- 本取扱説明書に記載の他のシステム名および製品名は通常、そのシステムまたは製品の開発メーカーの登録商標です。

収録時間のめやす

楽曲ファイル/音楽ファイルのビットレートと、使用するmicroSD/microSDHCカードの容量によって、収録できる時間と曲数が異なります。

		microSDカードの容量	
		1GB	2GB
ビットレート（録音品質設定）	PCM （PCM設定）	約1時間20分 約20曲	約2時間40分 約40曲
	320kbps	約6.5時間 約95曲	約13時間 約200曲
	256kbps	約8時間 約120曲	約16時間 約245曲
	192kbps （HQ設定）	約11時間 約165曲	約22時間 約330曲
	128kbps （SP設定）	約16時間 約240曲	約33時間 約490曲

お知らせ

- 付属のmicroSDカードは、2GBです。
- 曲数は、1曲を約4分としたときのめやすです。

	microSDHCカードの容量		
	4GB	8GB	16GB
	約5時間20分 約80曲	約10時間40分 約160曲	約21時間20分 約320曲
	約26時間 約400曲	約52時間 約800曲	約104時間 約1600曲
	約32時間 約500曲	約64時間 約1000曲	約132時間 約2000曲
	約44時間 約660曲	約88時間 約1320曲	約176時間 約2640曲
	約66時間 約1000曲	約132時間 約2000曲	約264時間 約4000曲

索引

アルファベット

あ

か

さ

た

は

ま

ら

保証とアフターサービス

保証書(別添)
保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。 **保証期間** お買上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間
この機器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」（別紙）をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは	持込修理
102ページの「故障かな?と思ったら」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したmicroSDカードなどのメディアもご用意ください。	
保証期間中は 修理に際しましては保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。 **保証期間が過ぎているときは** 修理すれば使用できる製品について、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。	

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎ (　　　)　　－

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。

② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。

- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

同意書
データのお取り扱いについて

当社は、不具合を改善するため、お客様からお預りした記録媒体内のデータを必要最小限の範囲で確認いたします。
しかし、データを複製することや、修理担当者以外の者が閲覧することはありません。
修理に持ち込まれた商品につきましては細心の注意を払ってお取り扱いいたしますが、事前にバックアップを取っておかれることをお勧めします。修理過程でデータが消失する場合や、故障の状態によってフラッシュメモリの初期化（フォーマット）や交換が必要となる場合があります。

■ 商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
■ 万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
■ 品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

以上の「データのお取り扱いについて」に関しまして、ご理解とご同意をお願いいたします。ご同意いただけない場合、不具合箇所によっては修理できないままお返しすることがあります。あらかじめご了承ください。
修理や点検を依頼されるときは、この同意書にご記入のうえ、商品に添付してください。

日本ビクター株式会社
ビクターサービスエンジニアリング株式会社
どちらかに✓マークをお願いします。

□同意する　　□同意しない

日付：　　年　　月　　日

ご署名：

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、
下記の窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター


0120−2828−17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話(045)450−8950
FAX(045)450−2275
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、**125**ページの「保証とアフターサービス」をご覧ください。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0909TMMMDWJMM

XA-LM1 ポータブルデジタルレコーダー 取扱説明書